

編集後記

フォトンクス研究所紀要の第5号をお届けする。

平成26年4月の異動で3代目のフォトンクス研究所の所長として、佐々木慎也教授（大学院光科学研究科長）が就任した。そのほか運営メンバーにも若干の異動があった。

フォトンクス研究所の活動内容にもさまざまな進展が見られる。2012年に発足したナノテクプラットフォームは、現在4人のスタッフを擁して、外部との共同研究や依頼対応はもちろんのこと、大学内部における多くの設備機器の有効活用に大きな力となっている。

もう一つの大きな進展はバイオミメティクスセンターのスタートである。これは本研究所の一部局として設置された。本分野において広く活躍し研究活動を牽引してきた下村正嗣教授が26年4月に東北大学から本学へ着任したことを受けての発足である。バイオミメティクスとは、長い進化の試行錯誤によって形成された様々な生体の構造と機能を人工的に模倣・再現することと理解している。大げさかもしれないがモノづくりのパラダイム転換たりうると期待して、本学もその発信地として何をなしうるのか考えたいと思う。

(YK生)

編集委員

佐々木 慎也 (委員長)
川辺 豊 (幹事)
カートハウス オラフ
山林 由明
唐澤 直樹
小田 久哉
高杉 雅史

編集庶務担当

柏倉 喜美子

千歳科学技術大学 フォトンクス研究所紀要 第5巻 第1号

平成27年3月31日発行 通巻5号

編集 フォトンクス研究所紀要編集委員会
発行者 千歳科学技術大学
〒066-8655 北海道千歳市美々758-65
電話 0123-27-6003